

三 「登場人物」と「会話主」を見抜こう！

1年生

I 教材文、それぞれの登場人物を文章中から抜き出しましょう。

P147 「竹取物語 冒頭」 ※二人います。

① [] || []

② []

P149 } 150 「竹取物語 蓬莱の玉の枝」 ※二人います。

① []

P149 の現代文の中から抜き出す。

② []

P159 「矛盾」 ※二人います。

① []

② []

II 教材文それぞれのセリフの会話主を書きましょう。

☆「竹取物語」

P150 L2 「この山の名を何とか申す。」 ↓ []

P150 L2 「これは、蓬莱の山なり。」 ↓ []

☆「矛盾」

P159 L3 「わが盾の……なきなり。」 ↓ []

P159 L5 「わが矛の……なきなり。」

P159 L7 「子の矛……いかん。」 ↓ []

登場人物と会話主を意識して、教材文を音読しましょう。

三 「登場人物」と「会話主」を見抜こう！

2年生

I 教材文、それぞれの登場人物を文章中から抜き出しましょう。

P134 } P137 「平家物語 扇の的」 ※三人います。

① []

② []

③ []

P138 } P150 「平家物語 弓流し」 ※一人います。

① []

P142 } P143 「徒然草 第五十二段」 ※二人います。

① []

② []

II 教材文それぞれのセリフの会話主を書きましょう。

☆ 「平家物語」

P135 L6 「南八幡……たまふな。」

[]

P137 L5 「御定ぞ、つかまつれ。」

[]

P138 L7 「弓の……取るぞかし。」

[]

☆ 「徒然草」

P143 L1 「年ごろ……見ず。」

[]

登場人物と会話主を意識して、各教材文を音読しましょう。

三 「動作主」を見抜こう！

3 年生

I 教材文それぞれの行動の動作主を書きましょう。

☆「おくのほそ道 冒頭」

P146 L4 「旅をすみかとす」 ※口語訳（＝現代語訳）中から、二つ抜き出す。

Two empty boxes with a dashed line for writing.

P146 L5 「旅に死せる」 ※注釈の中から四人抜き出す。

Four empty boxes with a dashed line for writing.

P147P146 L7 「漂泊の思ひやまず」
L8 「杉風が別荘に移る」

P147P147 L1 「蜘蛛の古巣をはらひて」
L10 「面八句を庵の柱に懸け置く。」

P147 L6 「取るもの手につかず」

A diagram showing a small box on the left, followed by a double vertical bar (||), and then a larger box with three dashed lines for writing.

↑古文中

↑ P146
P147 のどこか

☆「おくのほそ道 平泉」

P150 L6 「義臣すぐつてこの城に籠り」 ※注釈の中から抜き出す。

One empty box with two dashed lines for writing.

P150 L2 「高館に登れば」

P150 L9 「涙を落としはぐりぬ」 ※話の流れから想像して。

One empty box with three dashed lines for writing.

動作主を意識して、各教材文を音読しましょう。

三 「登場人物」と「会話主」を見抜こう！

1年生

I 教材文、それぞれの登場人物を文章中から抜き出しましょう。

P147 「竹取物語 冒頭」 ※二人います。

①

竹 取 の 翁

||

さ ぬ き の み や つ こ

②

三 寸 ば か り な る 人

P149 } 150 「竹取物語 蓬莱の玉の枝」 ※二人います。

①

く ら も ち の 皇 子

P149 の現代文の中から抜き出す。

②

天 人 の よ そ ほ ひ し た る 女

P159 「矛盾」 ※二人います。

①

盾 と 矛 と を 鬪 ぐ 者

②

あ る 人

II 教材文それぞれのセリフの会話主を書きましょう。

☆「竹取物語」

P150 L2

「この山の名を何とか申す。」 ↓

くらもちの皇子

P150 L2

「これは、蓬莱の山なり。」 ↓

天人のよそほひしたる女

☆「矛盾」

P159 L3

「わが盾の……なきなり。」 ↓

盾と矛とを鬪ぐ者

P159 L5

「わが矛の……なきなり。」 ↓

P159 L7

「子の矛……いかん。」 ↓

ある人

登場人物と会話主を意識して、教材文を音読しましょう。

三 「登場人物」と「会話主」を見抜こう！

2年生

I 教材文、それぞれの登場人物を文章中から抜き出しましょう。

P134 } P137 「平家物語 扇の的」 ※三人います。

① 与 一

② 年 五 十 ば か り な る 男

③ 伊 勢 三 郎 義 盛

P138 } P150 「平家物語 弓流し」 ※一人います。

① 義 経

P142 } P143 「徒然草 第五十二段」 ※二人います。

① 仁 和 寺 に あ る 法 師

② か た へ の 人

II 教材文それぞれのセリフの会話主を書きましょう。

☆ 「平家物語」

P135 L6 「南八幡……たまふな。」

与 一

P137 L5 「御定ぞ、つかまつれ。」

伊勢三郎義盛

P138 L7 「弓の……取るぞかし。」

義経

☆ 「徒然草」

P143 L1 「年ごろ……見ず。」

仁和寺にある法師

登場人物と会話主を意識して、各教材文を音読しましょう。

三 「動作主」を見抜こう！

3年生

I 教材文それぞれの行動の動作主を書きましょう。

☆「おくのほそ道 冒頭」

P146 L4 「旅をすみかとす」 ※口語訳（≡現代語訳）中から、二つ抜き出す。

船 頭

馬 子

P146 L5 「旅に死せる」 ※注釈の中から四人抜き出す。

幸 白

杜 甫

西 行

宗 祇

P147P146 L8 L7 「漂泊の思ひやまず」
「杉風が別荘に移る」

P147P147 L10 L1 「蜘蛛の古巣をはらひて」
「面八句を庵の柱に懸け置く。」

P147 L6 「取るもの手につかず」

予

＝

松 尾 芭 蕉

↑古文中

→ P146
P147 のどこか

☆「おくのほそ道 平泉」

P150 L6 「義臣すぐつてこの城に籠り」 ※注釈の中から抜き出す。

源 義 経

P150 L2 「高館に登れば」

P150 L9 「涙を落としはぐりぬ」 ※話の流れから想像して。

松 尾 芭 蕉

動作主を意識して、各教材文を音読しましょう。